

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/5 (木)	1	22 横山 強	1、各課のプロポーザルについて	<p>(1) 昨年6月の一般質問の回答では、今後のプロポーザルのあり方は議会、所管の委員会に諮り、審議すると答弁が、今現在も無視した運営としている理由を伺う。</p> <p>(2) これまで、各課がプロポーザル採用による、事業の取り組みに関わる審査員の選定と、採点の格差と、審査の問題点と、疑問点を審査に関わった副市長や各部長に伺う。</p> <p>(3) プロポーザル採用後の審査結果は、市民に公開が原則なのに、公開しないのは、行政は公開すると不備が露見すると問題ありきとした、思惑あるような疑問点を伺う。</p> <p>(4) 今後、市政が取り組みとするプロポーザル方式による問題点を伺う。</p> <p>(5) 平成24年から実施とした、プロポーザル方式による、各担当が採用としたマスタープラン・ランドデザイン等を手掛けた政策における契約の支出額を各担当課別に伺うとともに、無駄とした支出に対する市民に向けての感想を伺う。</p> <p>(6) あえてプロポーザルを施策とするならば現行の審査員の選定を改め、行政関係者を外し、外部者の専門知識の有識者で、第三者委員会としての取り組みとしては、伺う。</p> <p>(7) 今後の施策において、プロポーザルは、現行の方式を継続することは、財源の無駄遣いとなっているので、今後の三豊市政の財源を鑑みれば、行政と議会の英知で市政づくりをすると、プロポーザルによる施策の支出を軽減はかるべきで、今後、議会と行政で市政づくりの取り組みとするべきではないのか、見解を伺う。</p>
	2	7 西山彰人	1、三豊市内で雇用されている労働者の賃金と年金について	<p>年金が大変なことになっている。労働者の低賃金ゆえに、年金財源が少なくなっているのも事実と思うが、三豊市が業務委託している事業所の実態はどうなっているか。</p> <p>また、会計年度任用職員制度の導入に伴い、現在雇用されている臨時職員の年金は、将来どうなっていくと予想しているのか。</p>
			2、三豊市の幼稚園の基準について	<p>三豊市は豊中町の幼稚園の送迎バスの廃止を検討しようとしていると聞いたが、三豊市の幼稚園の基準はどうなっているのか。</p>
			3、三豊市の公用車の安全装置の装着について	<p>三豊市の公用車に安全装置はどの程度装着しているか。マイカーと公用車に取り付けられている、カーナビやバックモニターなどの安全装置の割合はそれぞれどうなっているか。</p>
	3	5 浜口恭行	1、地域に合わせた公共交通の構築について	<p>MITOYO MaaS PROJECTの実証実験がスタートする中で、地域にとって最適な公共交通ネットワークの実現を強力に推進する必要があると考える。その中で、MITOYO MaaS PROJECTの中の個別テーマ・生活交通にある、「地域公共交通網形成計画」＝「地域にとって望ましい公共交通網の姿を描くマスタープラン」や「地域公共交通再編実施計画」の策定が急務であると考えているが、策定される予定があるのかを聞く。</p> <p>また都市計画マスタープランや、立地適正化計画、第二次総合計画やランドデザインなどの中での整合性についても聞きたい。</p>
			2、所有者不明土地の現状と対策について	<p>2018年11月「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」が施行され、2019年5月には所有者不明土地問題の解消を後押しする新法「表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律」が成立した。</p> <p>全国的に空き地が増加している中で「所有者不明土地」も年々増加していることが問題となっており、本市においても様々な「空き家対策」は展開がされている中で、所有者不明土地の問題も当局としてできる限り先手を打って解決に動かねばならない問題であると考えている。</p> <p>そこで、「所有者不明土地」の当局の現状把握と対策についてを聞く。</p>

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/5 (木)	4	14 金子辰男	1、地域防災と学校の連携、および災害弱者の対応について	防災は地域の方々の協力なくては成り立たないが、子どもたちのいる学校は避難所として利用されることが多い。学校と地域の連携は必要であるが、災害発生時の学校との連携マニュアルなどは作成されているのか伺いたい。 また、子どもたちや高齢者の災害弱者に対する対応についても伺う。
			2、激動の日韓関係の中での、友好都市韓国ハプチョン郡とのあり方について	三豊市は、友好都市提携を通じて何を達成したいのか、今一度、考える必要があると考える。目的意識がはっきりしないまま「世界平和、友好親善に寄与すること」「地域の国際化に貢献すること」など漠然とした目的では、何のため行うのか疑問である。交流の目的は何かを問う。 また、友好都市事業の評価について、どう考えているのか。現在、日韓関係は以前より厳しい状況にあるといえる。そういう中で、長期的な視点で交流を続けることが、評価するに馴染まないとの意見もある。目標と成果を認識することが必要であると考え。意見を伺う。
	5	21 為広員史	1、財田川の整備について	令和2年より長瀬橋から樋壘橋間の整備を開始すると聞いたが、詳しい内容とそれ以外の三豊市区間の概要を聞く。
			2、宝山湖公園の整備について	設置より10年がたち、芝等が相当傷んでいる。 芝の貼り替えとトイレの水洗化について聞く。
9/6 (金)	6	11 石井勢三	1、公共施設再配置について	平成25年、三豊市公共施設再配置が策定されたが、その中の市民の活動施設について問う。市民の地域行事、コミュニティーの活動場所として、各地のコミュニティセンターや公民館を積極的に使用しているが、老朽化のため、耐震強度のない施設が、数多くある。公共施設を減らしていく中、今後の計画を問う。
			2、夜間中学について	夜間中学は、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した者や、不登校等、様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した者、外国籍の者、教育を受ける機会を保障するための重要な役割を果たしている。現在、中学校夜間学級(いわゆる夜間中学)は9都府県に33校が設置されている。文部科学省では、夜間中学が少なくとも各都道府県に1校は設置されるよう、その設置を促進している。三豊市での夜間中学について考えを問う。
			3、引きこもりについて	現在、引きこもりが社会問題となっている。引きこもりの数が増加することに伴い、社会保障費の増額や地域など社会構造全体への様々な影響が心配されている。家族間のトラブルが発生したり、地域との接点が希薄なことによって地域内で家族が孤立するなど、いろいろな悩みに苦しんでいる家庭がある。現在、三豊市の現状と今後の対策を問う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/6 (金)	7	12 丸戸研二	1、交通インフラの整備について	(1)コミュニティバス ①現在の運行・収支状況 ②市民の足・移動手段としての新たな運行 (2)JRとの連携 ①行政の役目 ・三豊市シティプラン ②駐輪場・トイレの整備
			2、公共事業の取り組みについて	(1)平成30年度建設関係事業の取り組み状況 ・予算執行と繰越措置 (2)財源の確保 ・合併特例債 ・社会資本整備総合交付金 (3)取り組み体制の強化 ・必要な予算の確保と円滑執行
			3、AIと地域振興について	(1)AI社会の推進 ・これまでの取り組み (2)AIの普及 ・市の施策における可能性
	8	4 田中達也	1、みとよクエスト～瀬戸芸の秋篇～について	瀬戸内国際芸術祭2019秋会期と重なる9月1日～11月30日の間開催されるイベント「みとよクエスト」について以下の点について伺う。 (1)瀬戸内国際芸術祭秋会期の集客目標と、手法について (2)「みとよクエスト」は冬を攻略篇からどのように改善が図られているのか。
			2、公共交通政策について	三豊市の公共交通政策について、以下の内容について伺う。 (1)詫間駅のICカード利用開始に伴う、市内事業者・公共交通事業者のキャッシュレス決済対応状況について (2)免許返納者等交通弱者へのラストワンマイル支援策の早期提供について
	9	1 近藤 武	1、関係人口について	「定住人口」でもなく、「交流人口」でもなく、地域や地域の人たちと多様にかかわる「関係人口」、地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されている。これまでの取組や、これからの展望を質問する。
			2、子育て支援について	新潟県三条市では、組織機構の見直しにより平成20年4月から教育委員会に「子育て支援課」を設置し、今まで分散化されていた担当が一つになり、市民が分かりやすいワンストップ窓口を実現した。三豊市でも更なる拡充について質問する。 また、同市では妊娠期から就労に至るまで様々な施策で支援する「子供・若者サポートシステム」や就学前児童に行う「年中児発達参観」により発達に支援が必要とされる子供に、早期の適切な対応と継続的支援により、学校や社会への適応を目指す取り組みをしている。三豊市でもこの様な取り組みをしているか質問する。
			3、生活保護行政について	本市の捕捉率の現状と国の保護基準引き下げについての対応や、また保護の相談件数はどの程度か質問する。 また、制度の周知や偏見をなくすために市としてどのような取組をされているのか、ケースワーカー1人当たりの担当受給者数や、社会福祉主事の資格取得者数等、職員の現状について質問する。
			4、小学校、中学校のプールについて	今年も猛暑でプールが使用できない日もあった。これからのプール運営について質問する。
			5、水の事故について	日本全国で多くの水の事故が発生し、三豊市でも事故があった。これからの管理体制や啓発活動について質問する。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/6 (金)	10	2 高木 修	1、学校給食における地産地消の推進状況について	市内農業・畜産業・水産業の振興のためには、学校給食における地産地消の推進が重要な位置付けを占めていると考える。地産地消の現状を示していただくとともに、数値目標が設定されていれば、その数値を品目毎に示していただきたい。
	11	9 込山文吉	1、地域公共交通網形成計画(マスタープラン)策定について	本格的な人口減少社会における地域社会の活力の維持・向上を目的とする改正地域公共交通活性化再生法が施行され、地域公共交通網形成計画策定を求められている。 (1)三豊市は計画策定に取り組み、地域公共交通バリア解消促進事業・地域公共交通調査等事業に取り組むべきではないかと考えるが市長の考えを伺う。 (2)地域公共交通活性化のため、市民ニーズに合った、コミュニティバス路線の再編とデマンドタクシー等導入も検討すべきと考える。お考えを伺う。 (3)高齢者の安全運転を支える対策の更なる推進も、地域公共交通網形成に欠かせない。衝突被害軽減ブレーキ導入車購入補助や既存車への後付け安全運転支援装置購入支援についての考えを伺う。
			2、スポーツ推進計画と施設管理について	(1)今年度の重点施策でもあるスポーツ推進計画策定の進捗状況を伺う。 (2)施設と推進計画は表裏一体と考える。施設管理の状況と計画及び課題を伺う。 (3)文部科学省及びスポーツ庁より、体育館の床板剥離による負傷事故の防止対策に関する取り組みの徹底についての通知が出されている。三豊市の取り組みを伺う。
9/9 (月)	12	3 湯口 新	1、子どもの貧困対策と子ども食堂について	子どもの貧困問題が全国的に表面化している。三豊市の現状と対策、および子ども食堂への市としての関わりは。
			2、給食を活用した子育て環境意識の強いまちづくりについて	子供達がほぼ毎日食べる給食は、地域の保護者だけでなく移住を考える子育て世代も大きな関心を持っている。給食を活用したまちづくりを考えてはどうか。
			3、子育て環境から見た農業の散布などについて	子育てしやすいまちづくりを進めるためには、子育て世帯のある地域での農薬の散布などには細心の注意を払う必要があると考えるがいかがか。
			4、人権教育・人権行政の在り方について	LGBT問題への先進的な取り組みで三豊市は注目を集めている。性的少数者だけではなく、障がい者差別や被差別部落問題など解決すべき人権問題はまだまだ多くあるが、その解決に向けての市としての考え方と取り組みを聞く。
			5、健康ポイントの現状と改善について	県主導で始まった健康ポイント制度「マイチャレかがわ」の現状とこれからを聞く。
	13	19 川北善伴	1、ランドデザインと詫間地区再開発計画について	平成30年度に構築した第2次総合計画のまちづくりマップ(ゾーニング)を具体化していくシティブランディング及びランドデザイン構築業務での基本的な考え方、テーマや方針、地域ゾーニングと気軽に行ける、顔の見える地域サイズでの市民サービス拠点の在り方について伺いたい。 また、詫間地区再開発計画が示されているが、三豊の観光、産業を生み出していく新たな海の玄関口とし、観光交流・にぎわい創造拠点とした土地活用について伺いたい。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/9 (月)	14	18 坂口晃一	1、組織機能の強化策について	(1) 市民にとって目的と計画が不明—結果出ない。 (2) 県・国の施策に対応が乏しいと考えるが、職員能力が発揮できない組織だからではないか。 (3) 市民に対応できる組織でない。
			2、土地活用について	(1) 農地価格の暴落 (2) 農地集積→形状変更(土地改良事業推進策は) (3) 農地規制の緩和—転用促進、無断転用の整理について、香川用水・畑灌の整理 (4) 三豊市の農振計画は何か(田、畑)。 (5) 中山間の環境保全—バイオマス—発電(竹資源の活用)
			3、公共施設の利活用の計画性について	処分ではなく投資効果の計画は。
	15	13 岩田秀樹	1、三豊市中小企業・小規模企業振興基本計画について	小規模企業振興基本法が制定され5年が過ぎた。国と全ての自治体に小規模企業・家族経営への支援が責務として明確化された。2つの法をまとめて1つの計画にした意味はどこにあるのか。小規模事業者は、地域の経済や雇用を支える重要な役割を果たしている。また消費税増税に対する、業者支援は検討していないのか。
			2、女性の管理職比率拡大に向けて取り組みを	男女共同参画ネットワーク会議の皆さんと議員との意見交換会が開催された。来年度は、大きな人事異動が予想される。この時こそ将来に向けた取り組みを期待する。広域議会においてはすでに、消防を除く中心的な部署を女性が担当している。三豊市も条件的に可能な方は、女性の管理職となられることを期待する。
			3、環境保護に向けて森林・竹林の再生に向けた取り組みを	三豊市の森林の圧倒的部分は、私有林である。環境保護に対する取り組みはどうなっているか。公有林の場合、土砂崩れの発生防止対策はどのように検討しているか。
			4、ふれあいパークみの改修工事について	ふれあいパーク改修工事を実施するとのこと、指定管理者が決定し営業を開始後する順序が違うと考える。指定管理者が変わるときは最大のチャンスと言ってきたが、6月時点で入浴者数は30%前年比で減少している。 ボイラーや発電機の交換をせずに指定管理に出すのはおかしい、と言ってきた。なぜ、今になって施設改修を実施するのか。そして空調・照明まで。
	16	8 水本真奈美	1、防災行政について	(1) 2013年に改正された災害対策基本法では、共助による防災活動推進の観点から「地区防災計画」が盛り込まれている。自主防災組織の結成状況と「地区防災計画」の策定の現状、具体的な取り組みについて伺う。 (2) ハザードマップは地形や地質から自然災害を予測し、警戒すべき区域を明示している。ハザードマップ自体の認知度が低く、難解な部分もある。住民への周知、徹底の考えを伺う。 (3) 「マイタイムライン」の取り組みをどのように推進していくのか。 (4) 外国人観光客、外国人移住者に対する防災訓練や災害時支援体制、情報伝達について伺う。
			2、喫煙による健康被害について	2019年7月に改正健康増進法が成立した。これにより飲食店やオフィス等は原則禁煙となり、喫煙できるのは専用室となる。学校や病院、行政機関は屋内、敷地内も禁煙となる。 (1) 敷地内禁煙となる「第一種施設」の敷地内・建物内禁煙についての取り組みと状況 (2) 三次喫煙対策についての考え (3) 加熱式たばこの健康への影響について周知の考え

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第3回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
9/9 (月)	17	6 三木秀樹	1、公共施設の再配置計画の進捗に異議あり。また、三野図書館の移転の補正予算は、誰の責任で出したのか。	平成25年の「三豊市公共施設再配置計画」も平成29年(2017年)の「公共施設等総合管理計画」も前市長が、「公共施設再配置要綱」に基づいて「再配置する施設を決定した」が、現山下市長は公共施設の再配置をする施設を決定したのか。前市長の決定に基づいて「行動する事に」異議ありの立場で数点質問する。 同様に、前市長が決定した「文化センター」(三野町)の図書館「移転」が今後の「図書館の長期方針」が明確でない中で、暴走した当局の提案(今9月議会。その図書館を移転工事費補正)は、誰の責任で行っているのか。
			2、公民館で耐用年数が10年前後「過ぎている」問題をどう考えているか、市長に聞く。	今年4月現在、大見公民館(三野町)マイナス11年、笠田分館(豊中町)マイナス9年、第3分館(詫間町)マイナス12年。地元から「命にかかわる問題」と早期対策の要望が3年前(平成28年9月)大見地区より出ている。詫間支所周辺の「福祉センター」「勤労会館」はもう壊したと思うが、こうした公民館の「具体的」対策を聞く。
			3、会計年度任用職員の課題を聞く。	非正規職員の給与を「物件費」でなく「人件費で保障する」事になった今回の法改正。彼ら彼女らの働き無くして市民の「福祉向上」は無いのだから当然の立場で、質問する。
			4、ビッグ幼稚園のバス運行問題を聞く。	“「公平性に欠けていた」というのは、言葉足らずであった。特殊事情により、裁量によってバスを運行してきた。「公平性に欠ける」の言葉は、豊中に当たらないと思う”と教育部長は委員会で発言。その後のバス利用者と対面調査含め、判断を聞く。
			5、「放射線副読本」が小・中学校に送られている現状認識を聞く。	文部科学省から、市内の小学校・中学校に標記の冊子が送られている事を責任部局は知っているのか。原発被害を「緩和する」教育と見えるが、教育委員会の見解を聞く。